

半導體記憶體

関連技術

- 1. フラッシュメモリ技術
快閃記憶體技術
- 2. DRAM技術
- 3. メモリ階層とキャッシュ技術
記憶體階層與快取技術
- 4. 高速アクセス技術
高速存取技術
- 5. 次世代メモリ技術
次世代記憶體技術
- 6. メモリ圧縮技術
記憶體壓縮技術

日文

関連技術

(中文) 相關技術

主な種類

- フラッシュメモリ
- 快閃記憶體
- eMMC
埋め込み型フラッシュメモリ
嵌入式快閃記憶體
- NANDフラッシュメモリ
- NAND快閃記憶體

日文

半導体記録メディア

(中文) 半導體記憶體

使用半導體技術來儲存資料的記憶裝置

半導体記録メディア

データを記憶するために半導体技術を用いた記憶装置

半導體記憶體

日文

半導体記録メディアメーカー

(中文) 半導體記憶體製造商

主なメーカー

- Sサムスン電子 (韓国)
- 三星電子
- SKハイニックス (韓国)
- SK海力士
- マイクロン・テクノロジー
- 美光科技 (アメリカ)
- キオクシア (日本)
- 錦通
- ウェスタン・デジタル
- 西部數位 (アメリカ)

日文

フラッシュメモリ種類

(中文) 快閃記憶體種類

説明

- USBフラッシュドライブ
- USB快閃驅動器
- SDカード
- SD卡
- SSD
(ソリッドステートドライブ)
- SSD (固態硬碟)



解説

- HDDとSSDの違い：（HDD與SSD的區別）

HDDは回転する磁気ディスクにデータを記録する機械的なストレージで、読み書き速度は遅く、衝撃に弱い。ただし、容量あたりのコストが安く、大容量を低価格で提供可能。

HDD是回轉的磁碟上記錄資料，屬於機械式儲存設備，讀寫速度較慢且對衝擊敏感，但容量成本較低，能有大容量以低價提供。

SSDはフラッシュメモリを使用し、可動部品がないため高速で耐衝撃性に優れ、静音性や省電力性も高い。ただし、容量あたりの価格は高い。

SSD則使用快閃記憶體，沒有可動元件，因此速度更快且具耐衝擊性、靜音和省電性，但容量的價格較高。

例文

最近では、半導体記録メディアの技術進化により、より小型で大容量のストレージデバイスが登場し、モバイル機器にも活用されています。

最近，由於半導體記錄媒體技術的進步，更小型、高容量的儲存裝置開始出現，並且被廣泛應用於行動設備中。

フラッシュメモリなどの半導体記録メディアは、磁気ディスクとは異なり、可動部品を使わないため、耐衝撃性に優れ、長期間のデータ保存に適しています。

快閃記憶體等半導體記錄媒體與磁碟不同，沒有可動元件，具優秀的耐衝擊性，適合長期儲存資料。

相關單詞

ストレージデバイス	儲存裝置	モバイル機器	行動設備
フラッシュメモリ	快閃記憶體	データ保存	儲存數據